

1. SR型光雨量データ伝送システムの概要

SR型光雨量データ伝送システムは、既存の転倒マス雨量計の電気信号を、光雨量データ送信装置部でシリアル光信号に変換、遠隔の光雨量データ受信装置でシリアル光信号を電気信号に変換、テレメータ装置に伝達する機能を持っています。本システムは、設置時調整作業が不要です。また、光雨量データ送信装置内臓バッテリーは10年間使用が可能で、メンテナンスフリーです。

2. SR型光雨量データ伝送システムの特徴

- 転倒マス雨量計は改造は不要です。検定もそのままです。
- 雨量計は電源が不要です。
- 光雨量データ送信装置はバッテリーで10年間動作します。
- 光雨量データ受信装置の接点信号を、テレメータ装置に出力します。
- 伝送系は光ファイバーで、雷害の影響を受けません。
- メンテナンスフリーで、維持管理費を削減します。



光雨量データ送信装置
SR L-1000T

—仕様—
寸法： W300×H400×D120
重量： 約5kg

3. SR型光雨量データ伝送システム適用場所

本システムは、次の様な状況下で効果を発揮します。

- 電源確保が困難
- テレメータなどの無線が届きにくい
- リアルタイムでデータを取得したい
- 伝送系の2重化を図りたい
- 雷が多発する

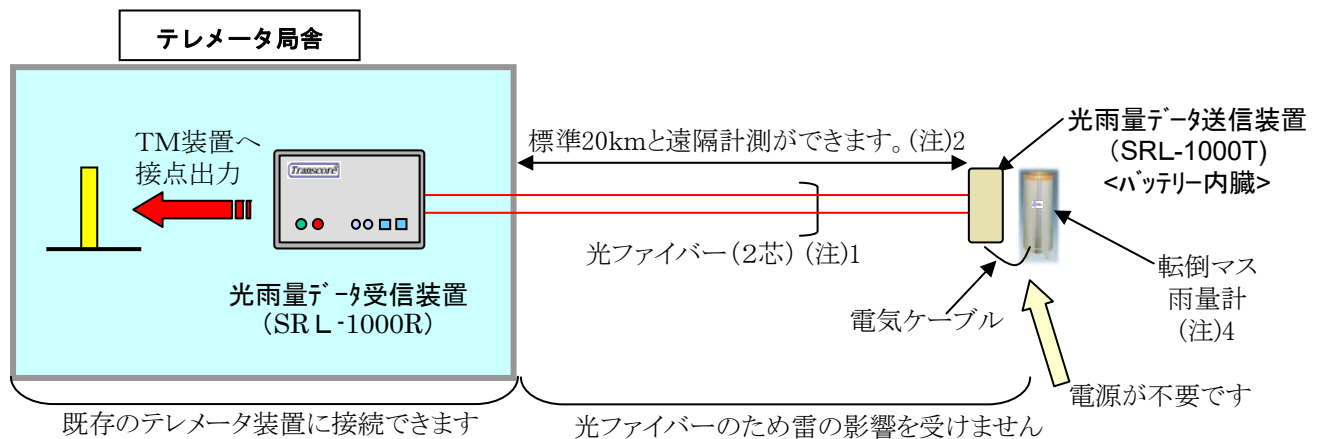


光雨量データ受信装置
SR L-1000R

—仕様—
寸法： W160×H90×D230
重量： 約4kg

4. SR型光雨量データ伝送システム接続構成

型式	適用	仕様	備考
光雨量データ送信装置 SR L-1000T	SM型光ファイバ [*]	1)電気入力 : 1ch 2)入力信号 : 無電圧接点信号 3)光出力信号 : 1.31 μ 帯 4)光ファイバ : SM 2芯	標準20km以内であれば設置時の調整は不要です。
光雨量データ受信装置 SR L-1000R		1)光入力信号 : 1.31 μ 帯 2)許容光損失 : 標準 20dB(ループ) 3)電気出力信号 : 無電圧接点信号 4)接点出力時間 : 100ms~200ms	



- (注) 1.光ファイバーはSM型(シングルモード)を使用します。
 2.光ファイバーの伝送距離は、光ファイバーケーブル設備の状態により30km程度まで拡張が可能です。
 3.光雨量データ送信装置の内臓バッテリー寿命は機器納入から10年です。
 4.雨量計は既存転倒マス雨量計をそのまま使用します。気象庁の検定には変更ありません。